

## 災害救護車を4地区区分に配備

4月8日(火)、岐阜市西部中島の日本赤十字社岐阜県支部において、災害救護車を4台を贈呈しました。

災害救護車は、災害時の救護物資の輸送など災害救護活動に使用するほか、平時においても地区区分にて赤十字活動(救急、福祉等)のために使用しており、7月31日現在、県下全市町村で296台が活用されています。本年度は各池田見地区、可児地区、瑞穂市地区、川辺町地区に更新車両として1台ずつ配備しました。

引続きには本年度配備する各地区区分の代表者に出陣いただき、日本赤十字社岐阜県支部副支所事務局長から「災害時での災害救護活動はもとより、平時の赤十字活動にもご活用をお願いします」との言葉と共にマスコットカーを代表の可児市社会福祉協議会常務理事(副地区長)高木健司様へ贈呈しました。高木常務理事は、「災害救護車はこれまでも防災、福祉等で活用していますが、将来の災害に備え、災害救護体制の充実強化に役立てていきたい」と述べられました。



(右から)多治見市役所 福祉課 河野 洋司 課長  
瑞穂市役所 福祉生活課 平塚 隆吉 課長  
川辺町役所 福祉課 斎藤 秀典 主任  
可児市社会福祉協議会 高木 健司 常務理事  
日本赤十字社岐阜県支部 藤田正明 事務局長

## 赤十字講習会のご案内

命と健康を守る赤十字講習会に是非ご参加ください。

講習会名	日時	会場
救急法基礎講習	10月16日(水)	西濃総合庁舎 4階大会議室
	10月27日(日)、11月10日(日)	日赤岐阜県支部 3階大会議室
救急法救急員養成講習 ※対象:救急士は受講できません	10月17日(木)・18日(金)	西濃総合庁舎 4階大会議室
	11月17日(日)・24日(日)	日赤岐阜県支部 3階大会議室
健康生活支援講習支援員養成講習	10月21日(月)・22日(火)・28日(月)	日赤岐阜県支部 3階大会議室
資格取得研修(救急法)	11月1日(金)	日赤岐阜県支部 3階大会議室
防災ボランティアのためのこころのケア研修	10月26日(土)	高山赤十字病院 3階講堂
高齢者の自立をめざして(健康生活 短期講習)	10月7日(月)	岐阜赤十字病院 南館2階講堂
認知症高齢者への対応(健康生活 短期講習)	10月8日(火)	岐阜赤十字病院 南館2階講堂

## 岐阜県支部 お知らせ

「平成25年度赤十字フェアぎふ(開催)」→赤十字をもっと身近な存在に→赤十字をもっと知ってほしいそんな思いを込めて、地域の皆さまに、赤十字への理解と協力をPRする「平成25年度赤十字フェアぎふ」を開催します。当日は、赤十字のパネル展示や模擬体験ブース等を設けての「ちびっ子記念撮影大会」、お菓子のつかみどりや模擬お友達やご家族等と遊びに来てお(AoA)あんなを持ってらぶ(AoA)

東濃地域/とき:平成25年11月9日(日)  
会場:多治見市民祭り  
西濃地域/とき:平成25年11月9日(土)  
会場:イオンタウン大垣

平成25年9月10日現在で岐阜県支部に寄せられた義援金・献金は次のとおりです。

献金会・義援会名	金額	受付期間
東日本大震災義援金	1,937,513,891円	平成25年3月31日域で
シリア人道危機義援金	19,765円	平成25年3月31日域で
2013中国の川増地義援金	43,451円	受付終了
2013インド洪水災害義援金	16,735円	平成25年9月24日域で
平成25年夏急激な西部大雨災害義援金	140,377円	平成25年9月30日域で
山口県平成25年7月28日大雨災害義援金	129,811円	平成25年9月30日域で
岩手県平成25年豪雨・大雨災害義援金	131,297円	平成25年9月30日域で
秋田県大雨災害義援金	130,303円	平成25年9月30日域で
埼玉県岩谷災害義援金	9月3日受付開始	平成25年10月31日まで
埼玉県台風18号災害義援金	9月18日受付開始	平成25年10月31日まで

皆さまの温かいご協力が  
心から感謝いたします。

ありがとうございます



# Red Cross Oifu 赤十字だより

創刊・発行

日本赤十字社 岐阜県支部

Japanese Red Cross Society

TEL 050-4001 0000000000

TEL 050-273-2801 <http://www.gifu.jrc.or.jp/>

<http://www.jrc.or.jp/structure>

発行日 平成25年10月1日 Vol. 24



## CONTENTS

赤十字奉仕団員のつどい	2	平成25年度災害救護車両の配備	4
ハイゼックスレシビ	2	赤十字講習会のご案内	4
子ども新聞プロジェクト2013	3	岐阜県支部のお知らせ	4
JRC国際交流報告	3	平成25年度赤十字フェアぎふ	
交流活動 岐阜赤十字病院	3	義援金・献金受付状況報告	

### 赤十字奉仕団員のつどい

8月4日(水)岐阜市文化センターにおいて、「赤十字奉仕団員のつどい」を開催いたしました。大会は3年ぶりに2日目の開催で、多数のご来賓の方々にご出席いただきました。岐阜県内の地域赤十字奉仕団・信濃赤十字奉仕団・青年赤十字奉仕団・青少年赤十字奉仕団の団員及び地区分区分部者の方々あわせて約600名が参加され、盛大に開催することができました。

第一部の式典では、奉仕団活動にご尽力いただきました奉仕団員または奉仕団に、社長感謝状(奉仕者2名)、有功章(金色:奉仕者23名・奉仕団1団、銀色:奉仕者86名)支部長感謝状(金色:奉仕者301名、銀色:奉仕者369名)の授与を各代表の方々に行いました。また、23の奉仕団より応募いただいたハイゼックスレシピについて、上位3団を表彰いたしました。

奉仕団の活動報告では、中津川市赤十字奉仕団より道徳感の花巻巻物、池田の方に対する不用品回収・焼酎へのおやつや門松の配布などの活動について、岐阜経済大学学生赤十字奉仕団より献血の呼びかけ活動、救急士講習会の開催・避難所設置訓練などについて発表していただきました。

第二部の講演では、岐阜市出身の格闘家三笠幸成氏に「格闘家三笠幸成氏の講演」と題して、講演と座談会を行いました。講演では部活の命術への道開などがランディア活動について話され、格闘では格闘の介助や中絶で苦しんだ経験などが話されました。会場は大きな拍手と美しい声で盛り上がりました。



奉仕団員への表彰授与



ハイゼックスレシピ紹介



中津川市赤十字奉仕団による活動報告

### ハイゼックス(災害時包摂食)レシピ

岐阜県内赤十字奉仕団へ、ハイゼックスを使ったレシピを募集したところ、23団からアイデアあふれるレシピの応募をいただきました。集めたレシピ全てを岐阜県交際部長が調理・試食し、味・見た目・材料の手軽さ・調理の手間・アイデア(色味など)の5項目で採点をいたしました。

このコーナーでは、23団を代表して上位3団のレシピを各号1団ご紹介いたします。今回は金賞に輝いた、可児市赤十字奉仕団の「里いもご飯」レシピです。

赤十字奉仕団員のつどいで表彰を受ける、可児市赤十字奉仕団



材料がシンプルで手間は少ないので、簡単にできる「可児市特産の里いも飯」に、生乳と卵リゾットのアクセントが効いて、とっても美味しく食べやすいデザート。支那料理の空っぽに彩りが広がる。担当: K

里いもご飯		可児市赤十字奉仕団	
		【材料】(1人分)	分量
		材料名	分量
		米	100g
		里いも	中1個(約200g)
		塩麹	1/2杯(約150g)
		だし汁	130ml
		生乳	100g(約100g)
		生卵	1個(約50g)
		味の素	少々
		味の塩	少々
【作り方】		【コツ、ポイント】	
1. 米は炊飯、蒸き器で炊く。		・里いもは、煮物用の味付けである。里いもを煮物にした場合は、煮汁を少し減らす。	
2. 里いもは、皮をむき小さく切る。		・生乳は、煮物用の味付けである。煮汁を少し減らす。	
3. 塩麹は、味をなじませる。		・生乳は、煮物用の味付けである。煮汁を少し減らす。	
4. ハイゼックスレシピのDMを参考に、3の分量を中に入れておく。		・生乳は、煮物用の味付けである。煮汁を少し減らす。	
5. 炊き上がったご飯の上に、生乳と卵の液をのせてかき混ぜる。		・生乳は、煮物用の味付けである。煮汁を少し減らす。	

### 子ども新聞プロジェクト2013

7月20日(土)～22日(月)の日程で、愛知県、岐阜県、三重県の青少年赤十字メンバー11人が子ども記者として、夏日本大賞賞の被災地(岩手県、宮城県)を訪れ、現地の子ども「子ども新聞」として取材に当たりました。

岐阜県からは、岐阜市立三田小学校の年の丸井梨央さんと山本理恵さんが参加し、被災地の子どもたちも、当時の様子などを貴重な話を聞きました。

三重県津・青リクス館にて取材



取材の様子

#### 一校校をめぐって

丸井 梨央

私は岩手県立本宮南中学校、地味の方が多い、勉強ばかりと、自分の夢や将来の夢を聞かず、ボランティアによって支えられ、全盛期も多くの支援により存続でき、今では地味の子になっていく事に感謝しました。人とのつながり、絆を強く感じました。私も日々の生活に感謝し、何をすべきか考え、強く生き抜きたいと思いました。

#### 一校校をめぐって

山本 理恵

今もまだ避難生活に悩んでいる方から「まずは自分を支えること」の大切さを教えてもらいました。私は、自分の居場所である三田小学校の中で、自分や仲間を大切に、出来ること、すべきことを実践していきたいと願います。新聞を作ることで、自分のこれから頑張ることが見えてきた気がします。

### JRC国際交流報告(7月26日～30日)

チンギスハン公園での交流活動

#### 青少年赤十字代表団海外派遣(モンゴル)を引率して

岐阜市立南中 海本 和直 敬請

モンゴル赤十字社の青少年メンバーと交流して感じたことは、宗教的かつ信仰的にボランティア活動をしているということです。中でも仏教圏の人々の生活が苦しい。救済の支援は、日本ではあまりしていない。活動であるため、今後活動してもよい活動ではないかと感じました。

また血液センターでは日本と違い血液が足りず、すぐに血液が入りすぎます。でも提供が不足しているため、ストックもあまりない。という苦しい事情も感じました。

モンゴルの食事は日本ではどんな活動ができるかを青少年メンバーが気づき、考え、実行してくれることを期待しています。



現地の人々との交流

### 交流活動 岐阜赤十字病院

「地域社会が、在って良かつたと思える病院の一つの目標に掲げつつ交流活動を行いました。岐阜赤十字病院ではこれからも地域の皆さまとの交流を大切に、少しでも必要に立てるよう心掛けていきます。



6月25日

東立岐阜南東高校にて開催された救急士講習会では、当時の救急士講習会が実施されたことと生乳に直接接種しました。



7月20日

岐阜南東高校の生乳によるフィールドワークが実施され、岐阜南東高校や岐阜南東高校の意見交換会では高校生らしい貴重な意見が飛び出す場面も見られました。



8月1日・2日

岐阜県ナースセンター主催によるふれあい研修会が行われ、岐阜南東高校の県内の中高生が実際に患者さんとふれ合い、時には看護師の指導の下「患者紹介」や「死生観の話し合い」などに参加しました。